

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 29年6月 13日		
所属学部・研究科	文学部/研究科 3年次 (留学開始時点)			
留学先大学	テュービンゲン大学 (国名: ドイツ)			
所属学部・学科等名	哲学部			
在籍身分	交換留学生			
留学期間	平成 28年09月02日 ~ 平成 29年02月28日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: 学生ビザ			
	ビザ申請先: Bürgeramt (市役所のような所)			
	取得方法, 提出書類: ビザ申請書類、パスポート、留学先大学の入学許可書、パスポート用写真、海外保険の証明書、経済的能力を証明できるもの (銀行の残高証明書) を外国人用窓口へ提出			
	手続きに要した日数: 3か月			
その他必要な事前手続き				
出国年月日	平成 28年09月01日			
経路	関西国際空港、アムステルダム・スキポール空港、フランクフルト国際空港			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	3週間程度 Startkurs という語学コースに参加 語学の授業、入学手続きやビザ申請の手伝い、遠足など			
帰国年月日	平成 29年03月03日			
経路	フランクフルト国際空港、アムステルダム・スキポール空港、関西国際空港			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	850,000	円	
	内訳	渡航費	170,000	円
		保険料	94,000	円
		教科書代(学費)	6,000	円
		宿舍費	204,000	円
		食費	300,000	円
		その他 ( 荷物郵送代)	15,000	円
( 本代)	16,000	円		
( 旅行費)	42,000	円		

3. 授業について	
3年 2学期	10月24日～1月30日
3年 2学期	10月25日～1月31日
3年 2学期	10月26日～2月1日
年 学期	月 日 ～ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	「外国語としてのドイツ語 (DaF)」という有料 (5～20 ユーロ程度?) のプログラムでドイツ語や文化、歴史等の授業を受講
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	DaF の授業は事前申し込みが必要なので HP 等で調べておくか学期前に開かれるコースに参加すると良いと思います。また授業を録音しておくことで復習の際に便利です。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 13 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 4人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり 295 ユーロ (現地通貨) 約 35,000 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ( )
留学先での住居全般に関するアドバイス	寮によっては食器類・調理器具はないので注意。約 100 ユーロで布団やシーツなどの貸し出し有。台所とシャワー・トイレ (男女別) は共同。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 93,820 円 補償額 死亡 1000 万円, 入院1日 円 その他 ( )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療機関を利用する際はあらかじめ予約をとっておく必要がある。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注 意すべきこと	なし	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
なし		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
頻繁に道路工事が行われるため、バスの停留所や経路が変更になることがある。 日曜・祝日、クリスマスの前後などにはスーパーマーケット等は営業していない		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 29 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 29 年 3 月)	
卒業が遅れる見込み の場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )	
現在の状況および今 後の予定・進路等	一般就職	
就職活動や留学前の 単位取得, 教育実習等 についての工夫		
<b>6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等</b>		
書籍, サイト名	詳細(出版社, URL 等)	コメント
ドイツ便利帳	<a href="http://doi2.net/">http://doi2.net/</a>	ドイツでの生活に関する情報が多くまとめられてい
Deutsche Bahn	<a href="https://www.bahn.de/p/view/index.shtml">https://www.bahn.de/p/view/index.shtml</a>	国内の電車・バスの検索や席の予約などが出来ます(アプリも有)
<b>7. 自由記述(後輩へのアドバイス等)</b>		
<p>テュービンゲンは治安が良い街で現地の人もとても親切なので、何か困ったことがあれば遠慮せず周りの人を頼るといいと思います。在独日本領事館が発信する安全情報はよく確認した方がいいです。</p> <p>初めの一ヶ月は話が聞き取れなかったり上手く話せなかったりするかもしれませんが、少しずつ慣れて上達すると思うので頑張ってください。毎日ラジオを聴いたりニュースを見るのがお勧めです。</p>		

## 学習の概要に関するレポート

私の留学先であるテュービンゲン大学は10月の第三週目から学期が始まったが、9月には”Startkurs”という留学生を対象とした3週間程度の語学コースに参加し、ドイツ語文法や会話練習の授業などを通してコミュニケーション能力の向上と他の学生との交流で他文化を知る機会を得ることが出来た。

学期が明けてからは主に大学内の「外国語としてのドイツ語(Deutsch als Fremdsprache)」という部門が提供する授業を受けた。これは受講するのに5~15ユーロ程度支払わなければいけないが、最大3つまで自分の語学能力に合った授業を受講することができる。私はこのうち会話練習の授業とドイツ語の語彙に関する授業、戦後以降のドイツの歴史・政治・社会システム等についての授業を受けた。

会話練習の授業では毎週新聞やニュースの記事を読み、それを纏めたものをグループ内で発表した。記事を読み、それを自分の言葉でわかりやすく纏めることで読解力や語彙力が身についた。また、他の人が纏めてきた記事についてドイツ語で自分の意見を述べたり質問をしたりすることはとても貴重な経験になった。

語彙の授業では語彙の学習方法、形容詞や副詞・名詞の作り方、間違いやすい単語の違いや使い方などについて学んだ。他にもテーマに関する単語とそれをを用いた熟語(例えば体の部位、五感など)についても学んだ。中でも興味深かったのは辞書で単語の翻訳をする際に、言語によってある1つの単語を表す言葉の量が異なるということだ。例えばドイツ語の”der Wald”は日本語では森・森林・山林など五つほどの訳があるが、英語では”wood”、”forest”の二つしか訳が出てこない。これは各言語の背景にある各国の文化との結びつきによるもので、それぞれの文化圏において何が重要視されているのかが語彙を通して見えてくる、というのは私にとっては非常におもしろく感じた。

3つ目の戦後以降のドイツに関する授業では、選挙の仕組みや連邦制について、社会福祉制度についてなどの知識を身につけることができた。この授業を受講したことによって留学前と比べてドイツについての知識や理解はとても深まったと思う。この授業ではグループ発表があり、発表テーマについて調べたり纏めたりした。私のグループは残念ながら上手く連携をとることが出来ずあまり良い発表は出来なかったが、少なくとも自分たちの発表テーマに関する知識はしっかりと身につけることが出来たと思う。

「外国語としてのドイツ語」での授業の他には大学の日本語学科で日本史と『竹取物語』に関する授業に参加した。これらの授業では予習も多く、授業中も内容を完全に把握はできず苦労したが、外国の日本語学科でどのようなことを学んでいるのか知ることができた。授業外ではネイティブのドイツ人とあまり話さなかった為、会話能力はあまり身につけなかったが、毎日ニュースやラジオを聴いていた為リスニング力は向上させることが出来たのではないかと思う。

## 生活の概要に関するレポート

テュービンゲンはあまり大きくはない街で、冬は氷点下 10℃ほどまで冷え込むが乾燥はしておらず、とても住みやすい街であると思う。公共交通機関としてはバスと電車があり、バスは本数も多く広範囲に運行しているため移動にはほとんど困らなかった。学生用の一学期間使える「ゼメスターチケット」という定期券を使ってテュービンゲン内のバスと列車に制限はあるが北はシュトゥットガルトの手前まで、南はコンスタンツまで電車で移動することができた。そのため範囲内であれば交通費がかからず、また範囲外であっても長距離バスを使ったり、他の人と一緒に”*Schönes Wochenendticket*”という切符を使ったりすることで安く旅行をすることができた。

テュービンゲンに到着してからは、旧市街にある *Bürgeramt* という役所で住民登録とビザの申請をしなくては行けないが、私は 9 月に参加していた *Startkurs* のプログラム内で必要書類についてや書類の書き方の指示を受けたため比較的スムーズに申請できたと思う。ただ、ビザの申請の際に経済能力を証明するために銀行の残高証明書を提出する必要があり、また学生寮の家賃振り込みのためにも銀行口座を開設する必要があり苦労した。

授業期間内には大学の日本語学科で木曜日と金曜日の隔週で食事会とカラオケ・ゲーム会が開かれ、学生たちや他の日本人留学生との親睦を深めることができる。年末には忘年会も開かれ、日本語学科以外の学生とも知り合うことができるようになってきている。私はしていないが、多くの学生がここでタンデムパートナーを見つけていた。テュービンゲンには日本人留学生の他にも日本人がおり、その間で開かれる読書会に参加することでドイツやテュービンゲンに関する情報を入手することができた。

これはドイツのどこでも共通することだが、日曜・祝日になると飲食店や公共施設以外は全て休みになる。公共交通機関はもちろん利用できるが、あらかじめ買い出しに行っていないとミネラルウォーターさえ購入することが出来なくなる為とても苦労した。特にクリスマスとその前日の三日間は飲食店も含むほぼ全ての店が閉店するため、下手をすると 3 日間食事が出来ない危険があった。この時期は他の学生たちのほとんどが実家に帰っているため特に気を付けなければいけないと感じた。

テュービンゲンは冒頭で述べた通りあまり大きな街ではないためか非常に治安が良く、もちろん周囲に注意を払わなければいけないが、基本的には夜でも安心して歩くことが出来る。しかし、駅周辺には浮浪者のような人もいらかおり、酔っ払いに絡まれることも多少あるらしい。クリスマスマーケットの時期には特に注意しなければいけないと思う。しかし、それ以外では穏やかで学習に非常に適した街であると感じた。

